タムリエルの伝承：改訂版

タムリエルのアーティファクト

以下は私が過去数世紀にわたって集めてきた、想像を絶する重要性を持った品々に関する覚え書きである。そのいずれもタムリエルの至る所で繰り返し目撃され、所持され、失われてきた。一部は伝説で、その他はでっち上げかもしれない。しかし、それにも関わらず、多くの人々がこれら誰もが欲しがる品々を追って、または守ろうとして、命を落としてきた。

領主の鎧

この太古の胴鎧は卓越した品質を誇り、時にはモリハウスの鎧、またはキナレスの贈り物と呼ばれる。この鎧は着用者に、体力吸収と呪文抵抗の特殊能力を与え、使用した際には自分自身を解毒する。キナレスが着用者のことを相応しくないと判断した場合、領主の鎧は取り上げられ、次の選ばれし者のために隠されると伝えられている。

黒檀の鎧

黒檀の鎧は、先史時代にダークエルフの女神ボエシアによって作られた胸当てである。黒檀の鎧を誰が、どれくらいの期間所持するかを決めるのは彼女である。値すると判断された場合、着用者に火炎耐性とマジカ耐性を付加し、魔法の盾が与えられる。もはや黒檀の鎧を持つには不適格であると判断するのはボエシアのみであり、また、女神はとても気まぐれである。

破呪の盾

一見ドゥエマーのタワーシールドに見える破呪の盾は、タムリエルのアーティファクトのなかでももっとも古い遺物の1つである。ロールケン・シャリドールの戦いでの歴史的重要性に加え、破呪の盾は呪文を反射するか、呪文を唱えようとしている魔術師を沈黙させ、盾を装備しているものをほぼ完全に術者から保護してくれる。破呪の盾はいまだに初代の所有者を探していると伝えられ、他の者の手中には長く留まらない。ほとんどの者にとって、破呪の盾を一定期間所持することは手に余る。

クリサミア

このパラディンの剣は古代のクレイモアであり、その攻撃力を上回るのはこの剣の防御力のみである。装備する者に体力と炎からの保護を与え、唱えられた呪文を術者へと反射する。特定の勇者を好むことがないため、

クリサミアが特定の剣士によって長期間保有されることはあまりない。

マグナスの杖

タムリエルのアーティファクトの中でも古いほうであるマグナスの杖は、生みの親であるマグナスにとって、超自然的道具の類であった。使用されると、敵の体力と神秘のエネルギーを吸収する。やがてその杖は、所持する者が強力になりすぎて、杖自らが保護を誓った神秘の均衡を狂わす前に魔術士の下を離れる。

ウォーロックの指輪

大魔術師シラベインの妖術師の指輪は、神話や作り話の遺物のなかでも最も人気があるうちの1つである。タムリエルの古代史の中で、シラベインは指輪の思慮深い利用法によって大陸全土を救った。それ以降、この指輪はシラベイン程の崇高な目標を持たない冒険者たちの手助けを行なってきた。この指輪は、着用者に向けて唱えられた呪文を反射する特殊能力と、速度上昇と、体力回復の特殊能力で最もよく知られている。この指輪はシラベインのみが命令できると言われているため、長期間にわたって妖術師の指輪を着用できる冒険者はいない。

フィナスタールの指輪

フィナスタールの指輪は、冒険的な人生を生き抜くために、良質な防具を必要としていた男によって、何百年も前に作られた。指輪のおかげでフィナスタールは何百年もの間生き続け、それ以降、指輪は人から人へと持ち主が変わった。その指輪は、着用者の毒、マジカ、雷撃への全体的耐性を高める。しかし、フィナスタールは抜け目なくその指輪に、フィナスタール以外とはどこにいても不満になり、いずれは仮の所有者の手を離れ、他の居場所へと消えていくよう呪いをかけた。

カジートの指輪

カジートの指輪は、その指輪を有名にした盗賊ラジーンより何百年も古い太古の遺物である。ラジーンは指輪の力を使って自分を透明にし、疾風の如く迅速にした。彼は指輪のおかげでエルスウェア史上、もっとも成功した泥棒になった。ラジーンがその後どうなったかは謎だが、伝説によると、指輪はそのような使われ方に反発し、敵の目前で消えて彼を置き去りにしたと伝えられている。

モラグ・バルの戦棍

吸血鬼の戦棍としても知られるモラグ・バルの戦棍は、相手のマジカを流出させ、装備しているものに与える。その戦棍には敵の力を装備者に移し変える特殊能力もある。モラグ・バルは彼のアーティファクトを惜しみなく使っていたようだ。その戦棍に関する伝説は数多くある。この武器は、魔術師を倒す時に好まれるようだ。

クラヴィカス・ヴァイルの仮面

うぬぼれの強いクラヴィカス・ヴァイルは、彼自身の人格に相応しい仮面を作った。仮面の所有者は、タムリエルの住人から良い反応を得られやすい。人格が優れているほど恩恵は大きい。一番知られている仮面の話は、有名な貴族女性アヴァレアの物語である。幼少の頃、彼女は悪質な召使によって、ひどく醜くされてしまった。アヴァレアはクラヴィカス・ヴァイルと暗黒の取引を交わし、見返りに仮面を受け取った。仮面は彼女の外見を変えることはなかったが、急に万人から敬われ、称賛された。広い人脈を持った男爵と結婚してから1年と1日後、クラヴィカス・ヴァイルは仮面を取り戻した。アヴァレアは彼の子を身篭っていたが、男爵の一家から追い出された。21年と1日後、アヴァレアの娘が男爵を殺してあだ討ちをなした。

メエルーンズのカミソリ

闇の一党はこの黒檀の短剣を何世代にもわたって切望してきた。この伝説上のアーティファクトはどのような生物であっても、一瞬にして葬ることが可能であるとされている。メエルーンズのカミソリの所持者は歴史上、1人も記録されていない。しかし、闇の一党は一度、内部の酷い権力争いによって壊滅している。それには、このメエルーンズのカミソリが関係していたと疑われている。

救世主の皮鎧のキュイラス

救世主の皮鎧は、ハーシーンのアーティファクトである。この胴鎧にはマジカに抵抗する特別な特殊能力があった。伝説によると、ハーシーンは彼の狩猟場から逃げ出せた最初で最後の定命の者に、彼の皮を褒美として与えたと伝えられている。この無名の定命の者は、この魔法の胴鎧にその皮を縫いこませた。救世主の皮鎧は、あたかも自分の意思を持っているかのように英雄から英雄へと移り行く傾向がある。

苦き慈悲の槍

苦き慈悲の槍は、他にも増して謎めいているアーティファクトの1つである。この槍に関して知られていることは皆無か、それに等しい。歴史の記録は無いが、多くの人々はデイドラが起源であると信じている。使用されたとされる伝説は、バトルスパイアー陥落時に強力な英雄が使ったものしかない。英雄はメエルーンズ・デイゴンを撃退し、バトルスパイアーを取り返した際に槍の力を借りたという。苦き慈悲の槍は、タムリエルに何度か現れている。

デイドラの災厄

デイドラの災厄はフィックルダイアーの炎の中で、神聖な黒檀から鍛造された巨大な戦棍である。マッカーンの伝説的な武器であり、かつては、暗黒の霊魂をオブリビオンへと送り返すために使われた凄まじい武器であった。この武器には、オブリビオンから魔物を召喚する特殊能力がある。バトルスパイアーでデイドラの王に使われたことがあり、今では冒険者によって新しい地へ向かっている。

影の弓

伝説によれば、影の弓はデイドラのノクターナルが鍛造したものである。伝説的なレンジャーであるラエルラス・ガイルは、秘密任務のためにこの弓を授けられたが、失敗してしまい弓は消えてしまった。ラエルラスは大人しく敗れた訳ではなく、この弓に助けられて多くの敵を道連れにしたと言われている。この弓は所有者に透明化の特殊能力を与え、速度を上昇させてくれる。影の弓の目撃は何度も報告されており、第二紀の邪悪なダークエルフのアサシン、ドラムも一度この弓を手にしたことがあると言われる。

ランダガルフの拳

ベガリン・クランのランダガルフはタムリエルの歴史に、スカイリム出身の最強の戦士の1人として名を残している。彼はその武勇と戦闘での獰猛さで知られており、多くの戦いで帰　を左右した。ハラルド王がスカイリムを征服したとき、ランダガルフは最後を遂げた。ハラルド王はこの偉大な英雄を尊敬しており、ランダガルフの篭手を自分のものにした。ハラルド王の死後、篭手は消えた。王はランダガルフの拳が所有者の腕力を上昇させたと話していた。

君主の氷剣

君主の氷剣は真にタムリエルでもっとも珍重されるアーティファクトの1つである。伝説によると、邪悪な大魔術師アルミオン・セルモは、よく目にする氷の精霊の強い個体である氷の君主の魂で、偉大な戦士のクレイモアに付呪したとされている。戦士スルグナー・アッシは、遥か遠くの国の偉大なる王者暗殺の一端を担い、そこの新しい指導者となるはずであった。しかし、暗殺は失敗してしまい、大魔術師は投獄されてしまった。氷剣は、その刃に触れる者すべてを凍らせる。この剣は、次から次へと所有者を変え、一ヶ所に長く留まることはない。

環境の指輪

この貴重品に関して知られていることは少ないが、この指輪は着用者に、周囲の環境に溶け込む特殊能力を与えてくれると言われている。

使徒のブーツ

使徒のブーツは真の謎である。誰も見たことがないが、噂によると、着用者は浮揚することが可能であるらしい。

師の指輪

この簡素な金属の指輪は、どの魔術士見習いにも珍重される所持品である。この指輪は、着用者に知力と英知を上昇させる特殊能力を与えてくれるので、魔法利用の効率が向上する。上級魔術師のカルニ・アスロンが製作者であると言われている。彼の指導の下で学んでいた、若い見習いのために作った製作品である。アスロンの死後、指輪と他の所持品のいくつかが消失し、以後それらはタムリエル全土を巡っている。

風の指輪

この指輪に関する事実は何も知られていないが、この指輪の名前といくつかの噂から、着用者に速度を加えると考えられる。

吸血の指輪

吸血の指輪は、タムリエルでもより危険かつ珍しいアーティファクトである。この指輪には相手の体力を盗む特殊能力があり、それらを着用者に与えると言われている。指輪の確実な性質とその由来は全く未知である。しかし、多くの長老たちは、吸血鬼信者の教団による、モロウウィンドではるか昔に行われた邪悪な製作について語っている。吸血の指輪は極めて珍しいアーティファクトであり、月の何百周期か毎にしか見られない。

エレイドンの結界

エレイドンはブレトンの歴史に登場する伝説の聖騎士である。彼はその武勇と、すべての不正を正そうとする決意から人気の高い男であった。ある物語の中で、彼は男爵の娘を邪悪な将軍の手による確実な死から救ったと言われている。報酬として、男爵は財のすべてをなげうって、エレイドンのために魔法の盾を作らせた。その盾はエレイドンに傷を治癒する機会を与えた。

ヘイズドキの杖

ヘイズドキはとても負けず嫌いな魔術師であったと言われていた。彼は全土を歩き回り、彼より優れた魔術師

を捜し求めた。知られている限りでは、彼の挑戦に応えられる魔術師は見つからなかった。多くの人々が彼の力を恐れたため、彼は寂しさと孤独を感じ、自らの生命力を彼自身の杖に結合させ、今なお彼の魂はそこに残っていると言われている。タムリエル全土の魔法の使い手がこの魔法の杖を探している。この杖は所有者にマジカからの保護を与え、どの魔法使いにとっても確かな貴重品となる。

血虫の兜

虫の王はこの貴重品、血虫の兜を残したと言われている。この兜は魔法によって作られた骨の兜である。この兜は使用者にスケルトンを召喚させ、アンデッドを制御することを可能にするという。死霊術師には貴重な秘宝だ。

ドラゴンボーン・メイル

このキュイラスはコレクターや英雄が持てる中でも屈指の秘宝である。本物のドラゴンの骨から作られ、最初の帝国魔闘士、ズーリン・アルクタスによって第三紀の初期に付呪された。図抜けた傑作で、多くの者がこの鎧を求めた。このキュイラスの特性により、装着者は火と火属性の攻撃をする敵のダメージに対して耐性を得る。ズーリン・アルクタスがキュイラスにどのような付呪を行ったかについてはほとんど知られていないが、彼が旅の戦士に狩りを作ったという古い物語が存在する。戦士と同様、ドラゴンボーン・メイルは一つの場所に長く留まらない。

スカルクラッシャー

スカルクラッシャーは非常に大きく強力な武器である。この戦槌は魔術師ドラッチ・グサルによって魔法を燃料とする火で作られ、卓越した武器鍛冶職人ヒルボンガード・ローラマスによって鍛造された。鋼は魔法により鍛えられ、武器の重量は驚くほどに軽いため、さらに強力で痛烈な殴打が繰りだせる。この戦槌は祝祭にて飾られる予定であったが、盗賊に先を越されてしまった。スカルクラッシャーは今も製作者を探してタムリエルを旅している。

ゴールドブランド

この魔法の剣はほぼ完全な謎である。黄金が作られた様子や、北の古代の竜によって鍛造されたなどの話を盗賊が広めている。彼らの物語によると、それは竜を守ると誓った偉大な騎士に与えられたとされている。その剣は所持者に、炎ダメージを敵に与える特殊能力を授ける。ゴールドブランドは、最近の歴史では目撃されておらず、値する英雄を待っていると言われている。

ハイネックトゥナメットの牙

ブラック・マーシュはかつて、アルゴニアンがワマスと呼んでいた生き物が生息していたことで知られている。北方の男たちはワマスを、稲妻を血に持つ知的な竜であると考えていた。そのうちの1匹である巨大な獣、ハイネックトゥナメットは北方の男たちによって殺されたが、大勢の男たちと7日間、連日連夜かかった。生き残った男のうちの1人は、戦利品として牙を家に持ち帰った。牙は刃の形に削られ、小さな短剣に仕立てられた。その短剣は不思議と獣の魔法の特性を保有しており、所持者に敵への雷ダメージを可能とする特殊能力を与える。旅の英雄が稀に持ち歩いている。

ウンブラの剣

ウンブラの剣は太古の魔女ナエンラ・ワエルによって付呪され、その唯一の目的は魂の捕獲である。魂石と同時に使うと、敵の魂を石に封じ込める機会を所有者に与える。ナエンラは邪悪な創作が理由で処刑されたが、その前にこの剣を隠すことができた。ウンブラの剣は所有者に関してとても選り好みするので、値する人物が見つかるまで隠れたままである。

デンスタッグマーの指輪

この指輪に関して知られていることは、利用者に特定の要素からの保護を与えると言うことだけである。名前のデンスタッグマーでさえ謎である。

オレイン・ベアクローの兜

オレイン・ベアクローはヴァレンウッドの伝説の英雄の1人である。「蛙の目」ファウム王の息子で、クランの狩人として尊敬されており、将来の指導者であった。ウッドエルフの伝説は、オレインがエルフの森の魔女、グレンヒャファンヴァを1人で倒し、永遠に彼のクランに平和をもたらしたと伝えている。オレインはその後、数多くの偉業を成し遂げ、最終的にはナハテン風邪によって命を奪われた。彼の兜は偉大さの記念碑として、未来の世代が忘れぬよう飾られた。クランが分裂したため結果的に兜は失われてしまい、今は冒険者たちの貴重なアーティファクトとなっている。オレイン・ベアクローの兜は着用者の敏　性と耐久力を上昇させると噂されている。

デイドラの三日月刀

デイドラの三日月刀はもっとも希少で、偉大な報酬の中でも違法とされるほどの品だ。この三日月刀はメエルーンズ・デイゴンのデイドラ部隊が、帝国のバトルスパイアーを占拠した際に用いられた。独特の刃はバトルスパイアーが奪還された後、集められて破壊された。しかし、一つ残っていたようだ。帝国は全て破壊したと信

じているが、噂によればタムリエルのどこかにまだあるという。しかし、誰も見たことがない。この三日月刀は装着者に敵へ大ダメージを与え、麻痺させて敵の鎧を重くする効果があるという。強力な戦士には素晴らしい効果だ。ただし、存在するならば。

タムリエルの伝承: 改訂版

FormId	update.esm:0030D2
Owning plugin	update.esm
Local FormId	0030D2
Editor ID	Book3ValuableTamrielicLoreRevised
Inventory image	(none)
Menu art	HighPolyBasicBook07
Value (gold)	14
Type	Book or tome
Weight	1
Can be taken	Yes
Teaches	(none)
Inventory description	(none)
Keywords	(none)
Locations	1
Leveled lists	0
Scripts	0

© Bethesda Softworks LLC and the authors of the mods in the load order.
Exported and generated with SkyrimSourceExporter.